



亀中だより

No.38 令和3年12月23日 文責:岡田



For The Students!

我慢から工夫へ コロナ禍から学ぶ1年…

今年も残すところあとわずかとなりました。振り返れば新学習指導要領の本格的な実施とともに幕を開けた今年も意識するのは、やはり新型コロナウイルス感染症のことが大半だったように思います。コロナ第4波に直面した1学期は、まん延防止等重点措置などもあり、職場体験学習の中止、修学旅行の延期・目的地変更などがありました。8月後半から急拡大した第5波は、緊急事態宣言の発令となり、再び臨時休業、分散登校を強いられました。9月、10月の2か月にわたって学校行事等の自粛を求められ、体育祭、文化祭はもちろん中体連新人戦も例年通りには行えませんでした。

しかしそんなコロナ禍にあってもたくましくは亀中生…。この難局にあってもただ耐えるのではなく、知恵と工夫で学校生活を組み立ててくれました。工夫を凝らした“亀中祭”はその象徴ともいえるでしょう

それに加えてわが亀中教職員、これもまたたいしたものです。コロナ禍にあって、体調を崩す同僚も複数出た中、誰もが通常の業務量を越えていながらもここまでぶれない教育活動を続けてくれています。9月当初、先生方には「Better is Better than Best!」という言葉を送りました。Bestはなかなか見つからないけど、Betterから始めましょうと。今できることを地道にやってみましょうと。そして先生方はそのまま実行してくれています。

保護者、地域の皆様からすれば、満点ではないかもしれませんが、このような職員集団は私にとっては誇らしいことです。ですからそんな人の集まる今の亀中は…



今年の漢字 | 2月13日 清水寺にて

Kameyama JHS is Better than the Best!

といたいのです。ベスト以上とは過言ではないかと感じられるかもしれませんが、このような厳しい社会情勢の中で、変わらぬ笑顔を見せてくれる亀中の生徒、それに応えようと努力し続ける教職員がいてくれます。

さて3学期には、いよいよ目の前に進路実現が迫っている3年生をはじめ、各学年の締めくくりと4月からの新たなステージへ臨む自分を形作っていく時期となります。教職員一同、気を引き締めて、一人ひとりを大切に教育活動に今一度取り組むことをお約束して、今年の締めくくりとさせていただきます。

みなさまよいお年をお迎えください。来年もよろしく願いいたします。

学校評価アンケート ありがとうございました!

ご案内いたしました学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。コロナ禍での教育活動となり、すべての実践ができる状況ではありませんでしたが、工夫を重ねて取り組んでまいりました。学校運営協議会、PTA、同窓会をはじめとする保護者、地域のみなさまに様々な面でご協力いただいたおかげで、無事に今日までの学校運営を行うことができました。三学期、そして2022年を有意義なものとし、今年度をしめくくれるよう、いただいたご意見を生かしていきたいと思っております。

今後、学校自己評価としてまとめを作成し、学校運営協議会でも協議していただく予定です。その後学校ホームページでもご紹介させていただきます。